



宮崎 隆秀

はぎまえ698合同会社 勤務
萩市ふるさとツーリズム推進協議会事務局長
はぎまえ698トリップ 代表

| 応募のきっかけは?

神奈川県では旅行業に関わっていたのですが、当時から観光業に興味があり、折角の観光資源が引き出せていないのはもったいないと思っていました。また、人への思いやりの欠如や時間の使い方に疑問を感じるなど、都会暮らしに疲れてもいました。

そのような中、萩市の協力隊募集を知り、そのミッションが自分のやりたいことと一致していたので、応募しました。

| 隊員時代に感じたことや 大変だったことなどありますか?

「地域に入り込むこと」が難しかったですね。また、前職と異なり、全て自分で決めて行動する必要があったので、自分の意思決定を信じ抜くことが大切でした。その反面、自由度が高く、しばりがないところは良かったですね。

その他、協力隊退任後に向けた活動と、協力隊(役所)の立場とのバランスも難しかったです。

| 任期中に結婚されたと聞きました

同じ萩市の地域おこし協力隊員の妻と結婚しました。将来のことじっくりと考えるきっかけになりましたね。



インバウンド農泊の入村式会場



| 現在、そしてこれからについて

退任時に登録した旅行会社「はぎまえ698トリップ」(698は萩市の面積です)を、2018年8月に個人事業主として、また、「はぎまえ698合同会社」を2019年5月に設立しました。

農泊受入を行政主体から民間主体へと変えていき、より確固としたビジネスとして展開していきます。

また、将来的には旅行業を活かした体験型観光ツアーや、地域の民間企業を巻き込んだ体験型コンテンツも新たに作ります。萩の観光コンテンツを生み出し、それにより新たな雇用を生み出していくたいですね。

| 協力隊を目指す人や後輩へのアドバイス

「協力隊」というものが、地域によって考え方や捉え方が異なり、温度差もあるように思います。また、協力隊の概念そのものも変化してきているように思えます。

「自分のやりたい仕事は何か」はもちろん、結婚・子育てなどプライベートも全て含めて、自分にとって何が一番大切なか、優先順位をつけて考えることが大切です。そうすることで、着任後に何を行うべきかが自然と分かって動けると思います。

もちろん、着任前にしっかりとイメージトレーニングすることも大切です。

みや ざき たか ひで 宮崎 隆秀さん

| 協力隊として

| 着任地 | 萩市
| 活動期間 | 2015年9月～2018年8月
| 活動内容 | 農林漁家庭泊の受入調整、受入家庭の掘り起こしなど

| 現在の仕事

はぎまえ698合同会社 勤務、
萩市ふるさとツーリズム推進協議会事務局長、
はぎまえ698トリップ 代表
| ホームページ | <https://www.hagi-tourism.com/>



萩の特産「わかめむすび」

宮崎さんのあゆみ

2013.1

協力隊の存在を知る

協力隊のイベントに参加

2015.9

協力隊着任

2016.7

初めてインバウンドの受入

地域限定で、旅行会社
「はぎまえ698トリップ」登録

2018.8

協力隊卒業

2019.5

はぎまえ698合同会社設立

(代表社員:妻)